

EVENT VISION

ユニークな入社式「就職披露宴」に潜入！

キャンペーンや店頭プロモーションの事務局を運営するパルディアは4月4日、「就職披露宴」を開催した。新入社員の家族や社員も参加するなど、通常の入社式と異なるユニークな取り組みの模様や企画の意図を探る。

就職披露宴

「就職披露宴」を含む入社イベントはパルディアの社内ツアー、人前式、披露宴の3部構成で行った。社内ツアーでは新入社員やその家族にリニューアルされた真新しい社内を紹介。その後会場を「THE GRAND GINZA（ザ・グラン銀座）」に移し人前式、披露宴を実施した。今回の採用で入社した7人はおよそ700人の応募から選ばれた。

前式はチャペルのようにレイアウトされた会場で行われた。新入社員の家族のほか、先輩社員が参列。式がはじまり新入社員の名前が読みあげられる一人一人が入場する。7人が入場し、全社員が会場に揃ったところで中沢社長があいさつし、企業の歩みを伝えるビデオが上映された。



前式が終わり、披露宴会場へ移動。披露宴でははじめに中沢氏があいさつ。パルディアのビジョンが共有された。「オフィスツアーでは過去から現在のパルディアを見てもらいました。そして未来のパルディアは披露宴で見てもらうという構成にしました」（中沢社長）。



秀社員のアワードも実施された。新入社員にとつては将来目指すべき姿ということだ。



入社員の家族へのインタビューも。オンラインで参加した家族もいた。



後に新入社員一人一人が登壇し、家族への手紙を読み上げた。なかには手紙を読み上げながら感極まって涙する新入社員や先輩社員の姿があった。

＼社長に聞きました！／

中沢 敦 氏
パルディア
代表取締役 CEO



なぜ「就職披露宴」を開催しようと思ったのでしょうか
上場企業と比べると認知度が高いわけではないので、新入社員のご両親のなかには、パルディアがどのような会社か知らずに心配する人もいます。企業のビジョンを伝える機会が必要で、それはリアルのほうが適していると以前から思っていたので、このような機会を用意しました。新卒採用をはじめて15期目となる今年、パルディアは過去最高となる7人を新卒で採用しました。オフィスを増床し、企業規模が拡大した節目として初の試みである「就職披露宴」を企画しました。

実際に開催してみて、新入社員やご家族の様子をみていかがでしたか

感慨深いものがありました。感謝の手紙を読

む場面がありましたが、親にとって子どもが仕事を始めるというのは、子育てのゴールのひとつだと思います。そのタイミングで子どもから感謝を伝えられるかというと、なかなか簡単ではない。このような場がないと、ありがとうございます。直接伝える大切な機会を入社式で聞けたので良かったです。

選び抜かれた人材が加わったことで、新たな人材が加わり、企業の成長に期待がかかります。今後の展望を教えてください

現在、2028年を節目として事業拡大を目指して走り続けています。リアル×デジタルを活用したプロモーションテックカンパニー No. 1 の位置づけを目指していきたいです。